

マテリアリティ(重要課題)

社会課題／ メガトレンド	サステナビリティ重要課題 (マテリアリティ)	主な取り組み (社会課題・機会リスクへの対応)	KPI・中長期目標(2030年度)	関連するSDGs 最重要分野
事業活動	<ul style="list-style-type: none"> ・クルマの様変わりへの対応 ・交通死亡事故の低減による 安心・安全、快適なモビリティ社会の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・BEV化に向けた新製品の開発 ・BEV先行市場・OEMへの拡販 ・すべての人に安心・安全、快適を 届けるためのエアバッグ製品の開発・拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ・BEV関連売上収益比率:40% ・エアバッグの生産個数:+1.5倍(2022年比) <p>目標設定の計算式 BEV生産台数／自動車生産台数 ※S&Pグローバル情報に基づく</p>	 安心・安全・快適な モビリティ社会の実現
	<ul style="list-style-type: none"> ・コア技術を活用した新規事業の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業開発の経験を活かした新規ビジネス拡大 ・コーポレートベンチャーキャピタルの活用 ・デジタル化推進による業務革新 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュ・アロケーションに基づく (安心・安全、快適、脱炭素の貢献領域の拡大を目指した研究開発費や 人的投資、戦略投資を中心に資金配分) 	 イノベーション創出による 社会課題解決
	<ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出量削減・温室効果ガス排出量 削減による脱炭素社会の構築 ・廃棄物低減・水リスク低減による 循環型社会の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム・樹脂分野の知見を活かした 環境配慮型ビジネスの構築 ・カーボンニュートラルの実現に 向けたグローバル一体活動 ・循環型社会への貢献 (Car to Car リサイクル) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スコープ1、2:カーボンニュートラル ・スコープ3:△27.5%(2019年比) ・再エネ導入率:100% ・廃棄物量(総量)【単体】:△50%(2012年比) ・廃棄物量(原単位)【海外】:△55%(2015年比) 	   脱炭素・循環型 社会の実現
経営基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会との共生 ・多様な人材の活用推進・人権尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会に根差した取り組み (地域自立的経営、センターオブエクセレンス) ・ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン ・安全・健康経営 ・サステナビリティ経営を支える品質と サプライチェーンの強化 ・地政学・経済的リスクへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権に関する研修実施率:100% ・海外拠点のナショナルスタッフ幹部比率(副社長以上):60%以上 ・女性管理職数(比率)【単体】:100人(8.8%) ・中途採用者の管理職比率【単体】:30%以上 ・仕入先のサステナビリティ活動実施率:100% ・従業員エンゲージメント肯定率【単体】:75% ・重大災害発生件数:0件 	  多様な人材の活躍による 持続的成長
	<ul style="list-style-type: none"> ・誠実な会社としての コーポレートガバナンス ・コンプライアンスの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPのレジリエンス強化 ・内部統制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大法令違反件数:0件 ・サイバーセキュリティ重大インシデント:0件 	 公平で透明性のある 企業統治体制